

第34回宮島全国短歌大会を開催いたしました。

去る10月28日(日)、国民宿舎みやじま杜の宿において第34回宮島全国短歌大会を開催いたしました。

朝から素晴らしい秋晴れが広がる清々しい天気の中、当日は約100名のご出席を頂戴いたしました。

午前の部は、今大会の講師 花山多佳子先生より「日常の歌の切実、奥行き、おもしろさ」と題して講演いただき、午後の部では、事前にご投稿いただいた690首の中から「特別賞 16点」「優秀賞 16点」さらに「選外佳作 30点」を花山先生に選んでいただき、選歌講評を行っていただきました。

河北新報「河北歌壇」、NHK短歌(2011年～2012年度)の選者であり、実父の玉城徹氏や娘の花山周子氏も歌人として活躍されるなど“歌人一家”でもある花山先生の楽しいお話しにより、会場は時折笑い声も飛び交うなどとても和やかに進行し、講評後は入選された出席者への表彰を行い、大会は盛会の内に終了いたしました。

年々、短歌愛好者の平均年齢が上昇する中、かくも多数のご投稿・ご出席を賜りました事、深く御礼申し上げますと共に本大会の開催に絶大なるご支援を賜りました広島・山口の歌人協会をはじめとする各短歌結社と関係諸機関の皆様方に実行委員一同厚く御礼申し上げます。

宮島全国短歌大会実行委員会



当日は多くのお客様にお越しいただきました。



花山先生の講演



表彰式の模様



先生と受賞者の皆様の記念撮影



入選作品を記した色紙31点は11月11日(日)まで
厳島神社西廻廊に展示しております。